

「京銀サステナビリティ経営サポート」の取り組みについて ～株式会社 中川住研のSDGs・ESG経営をサポート～



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、取引先のSDGs・ESG経営支援サービスのひとつとして、「京銀サステナビリティ経営サポート」を行っております。今般、株式会社 中川住研（代表取締役 中川 克之、本社 京都府亀岡市）に本サービスをご利用いただき、当行がサステナビリティ経営方針策定をサポートしましたのでお知らせいたします。

本サービスは、お客さまのSDGs・ESGの取り組みを経営戦略に組み込むことを促進するもので、お客さまの経営理念、経営資源のほか、外部環境も踏まえたマテリアリティ（重要課題）を設定し、経営方針策定をサポートします。

当行は、今後も、取引先のSDGs・ESG経営をサポートし、お客さまのさらなる発展と持続性のある地域社会の実現を目指してまいります。

記

企業の概要（敬称略）

企業名	株式会社 中川住研
所在地	京都府亀岡市千代川町千原二丁目8番24
代表者	中川 克之
事業内容	宅地建物取引業
サステナビリティ経営方針 【詳細は別紙】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方の当たり前を可視化する 2. 歴史的建物「古民家」の再興を通じて地域の未来を紡ぐ 3. 我々は再生しているのではない 日本の文化財「古民家」を後世に引き渡すという使命を担う 4. クリエイティブはトライ&エラー精神から

以上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。



株式会社 中川住研

重要課題

取組方針

2030年度目標

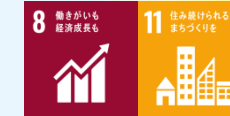
持続可能な社会の実現

1. 地方の当たり前を可視化する

- ・立地や価格に捉われない地域の歴史や文化の価値を見出す
- ・地方の魅力の積極的な発信

収益事業モデルを構築した
空き民家の物件数

500%
(2022年度比)



2. 歴史的建物「古民家」の再興を通じて地域の未来を紡ぐ

- ・暮らし方や建築文化などの日本文化の古民家を通じた発信
- ・古民家が持つ唯一無二の価値と現代の暮らし方の両立を提案

古民家の流通促進
年間棟数大

買取件数
500%
(2022年度比)
仲介件数
500%
(2022年度比)



3. 我々は再生しているのではない日本の文化財「古民家」を後世に引き渡すという使命を担う

- ・古民家再生の伝統技術を持つ企業とのパートナーシップを構築
- ・日本伝統技術を有する職人の育成
- ・海外への移築にかかるノウハウの蓄積
- ・古民家移築業務のFC化

古民家再生の
年間受注棟数

500%
(2022年度比)



古民家海外移築の
年間受注棟数

500%
(2022年度比)

4. クリエイティブはトライ&エラー精神から

- ・常識に捉われず多角的な視点を業務に活かす人材の育成
- ・トライ&エラー精神を良しとする企業風土の醸成
- ・マーケティング戦略への機動的な反映を実現する消費行動の追求

新規雇用の創出による
従業員数

500%
(2022年度比)



サステナビリティ経営方針

企業理念

日本の人口減少と都心一極集中による地方都市の空き家問題が年々深刻になって参りましたが、地方で見過ごされ当たり前となっている歴史や文化などにこそ、魅力が詰まっています。この本質的な豊かさを改めて見つめ直し、「ローカル」と「グローバル」を繋ぐことで、空き家問題の解決や地方の賑わいの持続的な創出に貢献してまいります。businessを通じて「やりがい」と「社会貢献」を創出することで、従業員の「自己実現」と「達成感」を生み出し、新たな価値や発想で地域の課題を解決して参ります。

ミッション

地方に
“共感”と“賑わい”を

ビジョン

人の心を紡ぐ
グローバルな
架け橋

バリュー

- ・人・縁・紡
- ・利他の精神
- ・楽しむこと
- ・やってみること
- ・共有・共感
- ・わいがや